

## 現状・課題

### ①宇宙空間の安全保障上の重要性増大

- ・宇宙デブリ等の脅威・リスクの高まり
- ・昨今の大規模災害の頻発化を受けた災害対策や気候変動問題等の地球規模課題への対応の必要

### ②宇宙産業拡大への期待の高まり・国際競争激化

- ・民間事業者主体の宇宙活動のための環境整備に伴う産業活動の活発化
- ・成果の橋渡しや社会実装に対する期待の高まり

### ③宇宙科学・探査分野における世界最高水準の成果創出及び国際的プレゼンス維持・向上の必要性増大

- ・新興国の台頭による我が国の存在感や技術的優位性の不安定化

### ④航空産業発展への貢献の必要性増大

- ・世界の航空機市場の飛躍的な成長
- ・我が国の民間航空機のための他国より優位な技術獲得の必要

## JAXAの取組方針

社会を科学・技術で先導し新たな価値を創造する組織へ変革し、以下の4つの取組方針を踏まえ事業を推進。

### ①安全保障の確保及び安全・安心な社会の実現

安全保障分野におけるニーズに応えた取組、防災・災害対策などの安全・安心な社会の実現に資する研究開発の推進

### ②宇宙利用拡大と産業振興

新たな事業の創出等の宇宙利用拡大に向けた取組、宇宙産業における国際競争力の強化に資する研究開発の推進

### ③宇宙科学・探査分野における世界最高水準の成果創出及び国際的プレゼンスの維持・向上

宇宙科学研究、宇宙探査活動、有人宇宙活動の推進

### ④航空産業の振興、国際競争力強化

航空機の安全性等向上の研究開発の推進

## 4つの取組方針を踏まえた具体的目標

### 1. 宇宙航空プロジェクトの実施

- 測位衛星** : 衛星測位基盤技術の研究開発により測位システム高度化や高精度測位配信サービス実現等に貢献【取組方針①、②】
- 衛星リモートセンシング** : 先進的なりリモートセンシング衛星の研究開発により、防災・災害対策、気候変動対策に貢献【取組方針①、②】
- 宇宙輸送システム** : 基幹ロケット（H3、イプシロン）の開発による自立的な打上げ能力の維持・向上及び民間移行【取組方針①、②】
- 宇宙状況把握（SSA）** : SSA施設（光学・レーダー）の整備・運用により、政府機関が一体となったSSA運用体制を構築【取組方針①】
- 宇宙科学・探査** : 衛星・探査機、観測ロケット等の開発・運用により、新たな宇宙開発利用開拓・科学的成果創出【取組方針②、③】
- 国際宇宙ステーション（ISS）** : 「こうのとりの高度化や「きぼう」の利用促進による、国際的プレゼンス向上・産業振興【取組方針②、③】
- 国際有人宇宙探査** : 米国が構想する月近傍の有人拠点構築への参画や国際的プログラムにおける日本の計画を検討し、深宇宙における我が国のイニシアティブを発揮【取組方針②、③】
- 航空科学技術** : 研究開発を通じた航空機の環境適合性・経済性・安全性の向上【取組方針④】

## 4つの取組方針達成に向けた具体的目標(つづき)

### 2. 分野横断的な研究開発等の取組

- (1) 民間事業者との協業等の宇宙利用拡大及び産業振興に資する取組【取組方針②】  
研究開発成果の社会還元促進を通じた新たな事業創出、宇宙実証機会の提供による民間事業者等の事業としての自立化支援
- (2) 新たな価値を実現する宇宙産業基盤・科学技術基盤の維持・強化【取組方針②】  
新たな事業開拓や技術革新を目指し、スペース・デブリ対策技術、太陽光発電システム等の挑戦的な研究開発の推進

### 3. その他目標を支えるための重要事項

- (1) 国際協力・海外展開の推進及び調査分析、(2) 国民の理解増進と次世代を担う人材育成への貢献、
- (3) プロジェクトマネジメント及び安全・信頼性の確保 等

## 評価軸(案)の概要

○**評価軸**は、中長期目標における4つの取組方針に沿って設定。

○**評価指標**は、成果についての指標である「**成果指標**」と成果に至るプロセスを評価するための指標である「**マネジメント等指標**」の2つを設定。

○**モニタリング指標**は、正確な事実を把握し適正・厳正な評価に資するために必要な指標。評価項目に応じて適切な指標を柔軟に選択・設定。

評価軸:取組方針②【宇宙利用拡大と産業振興】(抜粋)

中長期目標の項目	評価軸	関連する評価指標、モニタリング指標
(宇宙プロジェクトの実施) ・測位衛星 ・衛星リモートセンシング ・宇宙輸送システム ・国際宇宙ステーション 等  (分野横断的な研究開発等の取組) ・民間事業者との協業等の宇宙利用拡大及び産業振興に資する取組 ・新たな価値を実現する宇宙産業基盤・科学技術基盤の維持・強化	○新たな事業の創出等の宇宙利用の拡大及び産業振興、宇宙産業の国際競争力強化に貢献するための立案・検討・マネジメントは適切に進められたか。それに伴う成果が生まれているか。	<b>&lt;評価指標&gt;</b> (成果指標) ○宇宙利用の拡大と産業振興、宇宙産業の国際競争力強化に係る取組の成果 (マネジメント等指標) ○研究開発等の実施に係る事前検討の状況 ○研究開発等の実施に係るマネジメントの状況 (例:研究開発の進捗管理の実施状況、施設・設備の整備・維持・運用の状況等) ○民間事業者等の外部との連携・協力の状況  <b>&lt;モニタリング指標&gt;</b> ○国際的ベンチマークに照らした研究開発等の成果 (例:基幹ロケットの打上げ成功率・オンタイム成功率等) 等

# 宇宙航空研究開発機構に係る政策体系図(案)

宇宙基本法

政府全体の宇宙開発利用等を技術で支える中核的な実施機関

科学技術基本法

宇宙基本計画等の宇宙に関する政府の方針  
【宇宙基本計画における我が国の宇宙政策の目標】

- 宇宙安全保障の確保
- 民生分野における宇宙利用の推進
- 宇宙産業及び科学技術の基盤の維持・強化

科学技術基本計画等の科学技術に関する政府の方針  
【科学技術基本計画】

航空分野における文部科学省の方針

- 【研究開発計画(科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会)】
- 国家戦略上重要な基幹技術の推進(航空科学技術分野)

## 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構法

(機構の目的)

第4条 (略)大学等における学術研究の発展、宇宙科学技術及び航空科学技術の水準の向上並びに宇宙の開発及び利用の促進を図ることを目的とする。

## 機構を取り巻く環境の変化

宇宙空間の安全保障  
上の重要性増大

災害対策等の  
重要性増大

気候変動対策  
の重要性増大

宇宙航空産業  
への期待

宇宙航空産業の  
国際的競争激化

宇宙航空分野にお  
ける新興国の台頭

世界各国での  
探査活動の活発化

## 第4期中長期目標期間における取組

宇宙基本計画及び研究開発計画で示された具体的施策を着実に実行。

**社会を科学・技術で先導し新たな価値を創造する組織へ変革**し、以下の4つの取組方針を踏まえ事業を推進。

安全保障の確保及び安全・安心な社会の実現

宇宙利用拡大と産業振興

宇宙科学・探査分野における世界最高水準の成果創出及び国際的プレゼンスの維持・向上

航空産業の振興・国際競争力強化